

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

2021年1月13日

株式会社デジタルエッグ

社員への感染防止対策

- 毎日検温を実施。
37.5°C以上の発熱や、風邪の症状がある場合は入社せず経過を上長に報告する。
 - 「マスク着用」、「手洗い」、「消毒」の徹底。
 - 今まで以上に各部署で自宅待機勤務を推進し、現状の出勤率(50%目安)を下回る出勤率を目標とする。
 - 時差出勤を奨励し、混雑時の通勤を減らすとともに、オフィス内の同時滞在人数を減らすことにより感染リスクを下げる。
 - 営業フロア受付に透明パーテーションを設置。
 - 執務スペース各デスク間に透明ビニールを設置。
 - 執務スペースの常時換気を行う。
-
- 会議／会合／宴席／出張
- ① 会議は11時以降に設定し10名以内で行う（リモート会議を推奨）。
 - ② 多人数の会合（セミナー・イベントなど）の参加はプライベートを含め禁止。
 - ③ 夜の会食は禁止
 - ④ 国内外への出張は禁止。

お客様への感染防止対策

パブリックスペース

- 1F エントランスにて、顔認識・体表面温度自動測定器による体温、マスク着用チェックを実施。[図1参照]
- 「拭き上げ除菌」を1日2回実施。
- ラウンジで提供していたお菓子類は撤去。
- 各階の冷蔵庫を使用する際は、必ずスタジオ名を記入し、個別に袋に入れて収納する。
- 喫煙スペースは、利用停止。
- エレベーター内に私語を慎んでいただく旨のお願いを掲示。
- 消毒液を1F エントランス及び各階に設置。

- 会議室に消毒液を用意し、使用前・使用後に除菌していただく。
- トイレのハンドドライヤーは使用禁止。
- 便器の蓋は使用后、閉じてから流していただく旨のお願いを掲示。



図1 顔認識・体表面温度自動測定器

スタジオ内

- スタジオに入室するお客様には、「入室名簿」への記入をお願いし入室者の履歴を把握する。
- 作業の開始前及び作業後は、必ず「拭き上げ除菌」を行う。
 - ※ペン、タブレット、キーボード、モニター、テーブル、電話、ドアノブなど。
- 作業時は、スタッフの手袋着用を推奨。

■密閉対策

- ① 窓のあるスタジオは、窓を開け換気をする。
- ② 窓の無いスタジオは1時間に1~2度ドアを開け、5分程度換気をする。
 - ※全スタジオにサーキュレーターを設置。
 - ※当ビルは全ての場所において機械換気をしているため、ビル内に空気は滞留しない。

■密集対策

- ① リモート試写を推奨。
 - 弊社独自の CreatorVision を使ったオンライン・プレビューサービス（略称オンプレ）を始め Teams、Zoom、Webex（CISCO）など、お客様のご要望に応じて各種 Web 会議システムに対応可能。
 - 仮編集～グレーディング～本編集～MA まで全ての工程で実施可能。
- ② スタジオ内の人数は、スタッフを含め最大5名を目安に人数制限を設ける。

③ 5人を超える場合は、スタジオと会議室に分かれて試写を行う。

※全フロアの会議室にて編集室の映像が視聴可能。

■密接対策

① ソーシャルディスタンスを保つ。

② エディターと Dir など十分な距離が取れない場合は、可動式透明パーテーション及びフェイスシールドを使用。

③ 可能な限り「同時逐次指示」から「事前一括指示」へお願いし、試写時はその確認のみとすることにより接触時間を最小限にする。

以上